

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年2月13日
【四半期会計期間】	第84期第3四半期（自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）
【会社名】	横浜丸魚株式会社
【英訳名】	Yokohama Maruuo Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 芦澤 豊
【本店の所在の場所】	横浜市神奈川区山内町1番地中央市場内
【電話番号】	045(459)2921番(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 小島 雅裕
【最寄りの連絡場所】	横浜市神奈川区山内町1番地中央市場内
【電話番号】	045(459)2921番(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 小島 雅裕
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第83期 第3四半期連結 累計期間	第84期 第3四半期連結 累計期間	第83期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年12月31日	自2019年4月1日 至2019年12月31日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高 (百万円)	38,461	36,693	49,634
経常利益 (百万円)	418	399	433
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	365	256	407
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	974	308	920
純資産額 (百万円)	12,622	12,900	12,676
総資産額 (百万円)	20,927	20,943	18,371
1株当たり四半期(当期)純利 益金額 (円)	51.71	36.34	57.61
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	60.4	61.6	69.1

回次	第83期 第3四半期連結 会計期間	第84期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自2018年10月1日 至2018年12月31日	自2019年10月1日 至2019年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	23.01	18.63

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び連結子会社)が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続いている一方で、昨年10月からの消費増税に伴う景気の下振れ懸念もあり、また、米中貿易摩擦や日韓関係の悪化等懸念事項も多く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの中核事業であります水産物卸売事業におきましては、海洋環境の変化による大幅な漁獲量の減少、海外における水産物需要の増加に伴う取引価格の高騰に加え、相次いで襲来しました大型台風が集荷に与えた影響も大きく、特に千葉県を中心に被害は甚大であり、水産物販売事業にも大きな影響を及ぼし、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、中期経営計画「MMプラン4th Stage」の最終年度となります3年目にあたり、「原点回帰からの新たな挑戦」をテーマとし、顧客密着型営業を展開し、グループ一丸の体制で邁進しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は36,693百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ1,768百万円（4.6%）の減収となり、また、営業利益は143百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ42百万円（22.9%）、経常利益は399百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ18百万円（4.5%）それぞれ減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、減損損失88百万円等を特別損失に計上したこともあり、256百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ108百万円（29.7%）の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### （水産物卸売事業）

売上高は29,182百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ1,300百万円（4.3%）の減収となり、営業損失も5百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ23百万円（前年同期 営業利益17百万円）の減益となりました。

#### （水産物販売事業）

売上高は7,237百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ472百万円（6.1%）の減収となり、営業利益も68百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ22百万円（24.9%）の減益となりました。

#### （不動産等賃貸事業）

売上高は91百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ1百万円（2.0%）の減収となりましたが、営業利益は66百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ0百万円（0.8%）の増益となりました。

#### （運送事業）

売上高は182百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ6百万円（3.6%）の増収となり、営業利益も15百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ2百万円（17.1%）の増益となりました。

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、20,943百万円と前連結会計年度末に比べ2,572百万円増加しました。この主な要因は、現金及び預金の増加370百万円、受取手形及び売掛金の増加1,896百万円、商品及び製品の増加212百万円によるものであります。

負債は、8,043百万円と前連結会計年度末に比べ2,348百万円増加しました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加2,453百万円、未払法人税等の減少62百万円によるものであります。

純資産は、12,900百万円と前連結会計年度末に比べ224百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金の増加172百万円、その他有価証券評価差額金の増加35百万円によるものであります。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	29,298,000
計	29,298,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年12月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,261,706	7,261,706	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	7,261,706	7,261,706	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
2019年10月1日～ 2019年12月31日	-	7,261,706	-	1,541	-	376

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 194,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,056,200	70,562	-
単元未満株式	普通株式 11,006	-	-
発行済株式総数	7,261,706	-	-
総株主の議決権	-	70,562	-

【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
横浜丸魚株式会社	横浜市神奈川区山内町1	194,500	-	194,500	2.67
計	-	194,500	-	194,500	2.67

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,100	2,471
受取手形及び売掛金	4,344	6,241
商品及び製品	1,384	1,597
その他	82	137
貸倒引当金	513	511
流動資産合計	7,399	9,935
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,254	1,164
土地	1,714	1,683
リース資産(純額)	77	75
その他(純額)	86	83
有形固定資産合計	3,132	3,007
無形固定資産		
ソフトウェア	140	218
その他	12	11
無形固定資産合計	152	230
投資その他の資産		
投資有価証券	7,581	7,686
長期貸付金	7	6
破産更生債権等	484	266
その他	55	53
貸倒引当金	442	242
投資その他の資産合計	7,686	7,770
固定資産合計	10,971	11,008
資産合計	18,371	20,943



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,890	5,343
未払法人税等	81	19
引当金	52	13
その他	333	344
流動負債合計	3,358	5,720
固定負債		
退職給付に係る負債	555	531
資産除去債務	25	25
繰延税金負債	1,466	1,482
その他	288	281
固定負債合計	2,335	2,322
負債合計	5,694	8,043
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,541	1,541
資本剰余金	402	402
利益剰余金	7,602	7,774
自己株式	107	107
株主資本合計	9,439	9,611
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,252	3,287
その他の包括利益累計額合計	3,252	3,287
非支配株主持分	14	1
純資産合計	12,676	12,900
負債純資産合計	18,371	20,943

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	38,461	36,693
売上原価	35,748	34,049
売上総利益	2,713	2,644
販売費及び一般管理費	2,527	2,500
営業利益	186	143
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	225	246
その他	10	8
営業外収益合計	241	258
営業外費用		
支払利息	1	1
デリバティブ評価損	8	-
リース解約損	-	1
その他	0	0
営業外費用合計	9	3
経常利益	418	399
特別利益		
固定資産売却益	54	-
特別利益合計	54	-
特別損失		
固定資産除却損	0	12
減損損失	-	88
特別損失合計	0	100
税金等調整前四半期純利益	472	298
法人税、住民税及び事業税	114	23
法人税等調整額	0	1
法人税等合計	113	24
四半期純利益	359	273
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失( )	6	16
親会社株主に帰属する四半期純利益	365	256

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	359	273
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,333	35
その他の包括利益合計	1,333	35
四半期包括利益	974	308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	967	292
非支配株主に係る四半期包括利益	6	16

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

当社及び連結子会社2社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行と当座貸越契約を締結しております。これらの契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
当座貸越極度額	2,110百万円	2,110百万円
借入実行残高	-	-
差引額	2,110	2,110

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
減価償却費	132百万円	127百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	84	12	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

(注) 2018年6月28日定時株主総会決議による1株当たり配当額には、創立70周年記念配当2円を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	84	12	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	30,482	7,709	92	176	38,461	-	38,461
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,048	52	26	92	3,220	3,220	-
計	33,531	7,762	119	268	41,681	3,220	38,461
セグメント利益	17	91	65	13	187	1	186

(注)1.セグメント利益の調整額 1百万円は、棚卸資産の未実現利益 2百万円及びセグメント間取引  
 消去1百万円であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	29,182	7,237	91	182	36,693	-	36,693
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,841	66	26	96	3,029	3,029	-
計	32,023	7,303	117	279	39,723	3,029	36,693
セグメント利益又は損失( )	5	68	66	15	144	1	143

(注)1.セグメント利益又は損失( )の調整額 1百万円は、棚卸資産の未実現利益 2百万円及びセ  
 グメント間取引消去0百万円であります。

2.セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2.報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期累計期間において、報告セグメントに帰属しない全社資産の減損損失88百万円を計上して  
 おります。これは、共用資産の売却決定に伴う減損によるものであります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	51円71銭	36円34銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	365	256
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(百万円)	365	256
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,067	7,067

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月13日

横浜丸魚株式会社

取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 三澤 幸之助 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 澤田 修一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている横浜丸魚株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、横浜丸魚株式会社及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。